

発明の名称	映像装置及び映像形成方法(特許 6161028 号)	
学内発明者	三輪 空司(理工学府)	
技術分野	映像装置及び映像形成方法	IP24-031
発明の概要	探査用キャリア信号の周波数を操作せずに、極めて簡便な技術要素を追加するだけで、容易に空間分解能を向上できる映像装置及び映像形成方法	
説明図		
ポイント	空間分解能を上げたい方向に、計測対象を加振させ、直交検波で得た複素成分データにDFT(Discrete Fourier Transform: 離散フーリエ変換)を行う際、加振周波数成分を取り出し、補正演算を施して基本波成分に加算することにより、比較的簡便なプロセスの追加で、容易に空間分解能を向上できる。	

発明の名称	分光反射率測定装置、及び分光反射率測定方法(特許第 5761762 号)	
学内発明者	太田 直哉(理工学府)	
技術分野	測定対象の分光反射率を測定することのできる分光反射率測定装置	IP21-063JP
発明の概要	光源の分光エネルギー分布や、撮像装置の特性によらず測定対象物の分光反射率を測定することができる分光反射率測定装置、及び分光反射率測定方法を提供する。	
説明図		
ポイント	光学フィルタ5を替えながら、測定対象物3と反射校正版4の画像を複数枚取得する。反射校正版4には、異なる分光反射率を有する複数の反射校正部4aが形成されており、各反射校正部4aの分光反射率が既知とされている。演算処理装置7において、各々の光学フィルタ5を介して撮影された測定対象物4と反射校正版5の複数枚の画像を処理し、所定の演算により測定対象物3の分光反射率を導出する。	